

人材育成コース ガイダンス

令和 6 年度 相談支援従事者指導者養成研修
日時：2025年3月7日

ガイダンスの内容

1. 人材育成コースの目的等の振り返り
2. 今日のスケジュールについて
3. 演習Ⅰと演習Ⅱについて

人材育成コースの目的と内容

人材育成について考える2日間

法定研修と業務実施地域における実地教育（OJT）を考える

1. スーパービジョン等の知識と技術を確認して、どのように振舞うかを学ぶ（6月20日、6月21日）
2. どのような実地教育の形態があるのかを学ぶ（6月21日）
3. 人材育成ビジョンと法定研修を考える（6月21日）
4. 実際に行う個別SVの計画を作成する（6月21日）

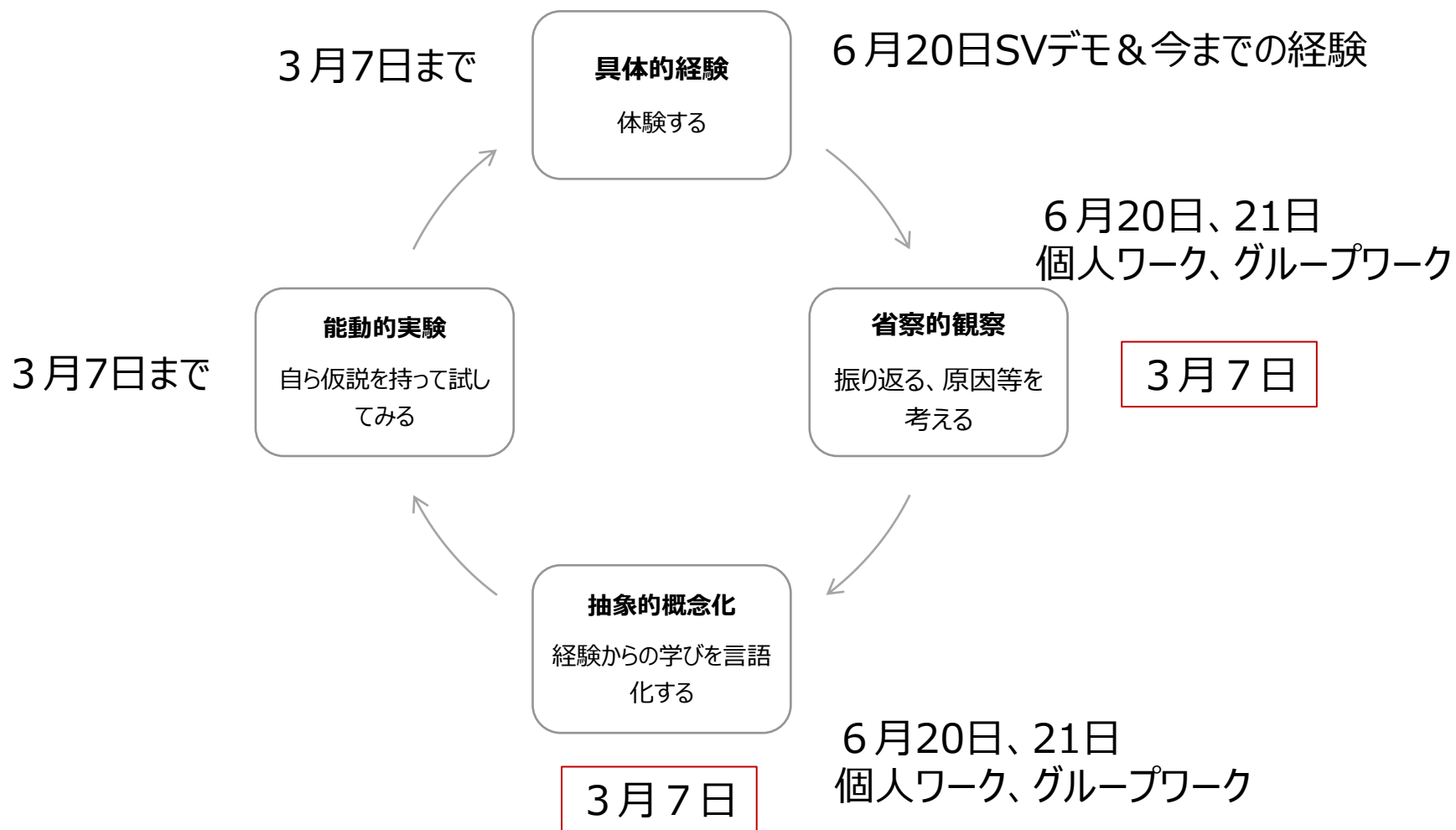
人材育成コースの全体像

1. 指導者研修2日目、3日目：6月20日、6月21日
⇒実地教育の形態やどのように振舞うかを学ぶ

2. インターバル期間：2024年6月～2024年3月
⇒学んだことを活かして、実地教育を実践する

 3. 指導者研修4日目：2025年3月7日
⇒実践した実地教育の振り返りと今後について

経験学習モデル



皆さん、どこかで見たことのある図だと思いますが、この経験学習モデルが本研修の構造の基盤になっています。

今日のスケジュール

時間	内容
11:10-11:20	コースガイダンス①
11:20-12:00	演習Ⅰ 事前課題の共有
12:00-13:00	昼休憩
13:00-13:05	コースガイダンス②
13:05-14:10	演習Ⅱ 今後の取り組みについて
14:10-14:20	休憩
14:20-15:30	全体共有 ・ 各グループの報告（3～5分×7G） ・ グループ内で解決できなかった課題についての応答 ・ 実践報告（受講者、講師）

演習Ⅰ 事前課題の共有

- SVの準備期とは、SVを実施する前に行うもので、事例のアセスメントやバイジーのアセスメント等を行う時期になります。
 - SVの実施期とは、SVを実施する時期です。
 - SVの振り返り期とは、SVで検討した事項のその後の把握を行う時期になります。
-
- ① 記録票をもとに、実施したSVの振り返りをグループメンバーの中で共有しましょう。
 - ② その際、記録票を画面共有して進めてください。
 - ③ 1人あたり発表3分、質疑応答（感想等も）2分が時間の目安です。
 - ④ 進行は各グループの受講者でお願いします。

演習Ⅱ

今後の取り組みについて

1年間の経験を省察し、言語化し、今後の取り組みについて考えることが今日の目的です。

そこで、この時間は省察と言語化を行います。流れとしては、個人ワークを行った後にグループで個人ワークの共有を行います。

13:05-13:15 個人ワーク

13:15-14:10 グループでの共有

14:10-14:20 休憩

14:20～全体共有を行います。各グループ、**報告者**も決めてください。

またグループ内で解決できないような課題や質問を次の時間に共有します。

演習Ⅱワークシート

□SVを行って得た気付きや課題

□事業所や業務実施地域での今後の取り組み

□都道府県での今後の取り組み

全体共有 & 実践報告

1. 全体共有（1G3～5分程度で報告）
2. グループ内で応答できなかった課題についての応答
3. 実践報告
 - 都道府県での実践報告 ⇒ 受講者の方々
 - 都道府県での実践報告 ⇒ 講師

SV（人材育成）の課題あるある

- ① 実際にSV、GSVをやっているけど、これで良いのかな？ 振り返りの指標はありますか？
- ② 自分より経験年数の長い人へSVなんて・・・。
- ③ 県内に実践しているところがなく、見学することも難しい。
- ④ GSVの定着をどのようにしていくか？（事例検討とSVの違いの理解が困難）
- ⑤ バイザーできるのに、バイザーできないと言う人が多い！
- ⑥ ソーシャルワーク、スーパービジョンの前に学ぶことをしない専門職の存在に頭を抱えている。

課題①、⑤について

個人でできること

- この研修でお示した「スーパーバイザー用個別SV振り返りシート」や日本福祉大学で開発された「スーパービジョン評価指標」等を参考にして、SVのセッションごとに自身の振り返りを行うことができると思います。

地域・都道府県単位でできること

- バイザーは孤立化しやすいと言われています。そのため、地域や都道府県単位でバイザーの集まる機会を作る必要があると思います。バイザー自身の悩みを共有できる場を作る等、バイザーの支援を地域・都道府県で行うことで、私でもできるかもと思う人が少しでも増えるのではと考えます。

課題④、⑥について

- 業務実施地域の規模にもよりますが、まずは少ない人数で実施するという発想も重要だと思います。
- スーパービジョンは、バイザーだけでなく、バイジーがスーパービジョンとは何かを理解することで効果が発揮されと考えられます。
- そういった意味では、無理に全ての人を対象とせず、まずはスーパービジョンを理解している数人から始めていき、徐々に参加者を増やしていくといった長期的な視点が必要になると思います。